



エンタメをプラスしたコンテンツで 教育業界にイノベーションを

(株)FOREST Hunting One 代表取締役 森 りょういち氏

オリジナルコンテンツで 世界に勝負をかける

福岡市中央区白金のFOREST Hunting Oneは、オリジナルのCGアニメを発信する制作会社です。3,000枚売れば上出来というアニメDVD業界において、2010年に発表した脱力系ショートアニメ『Peeping Life(ピーピングライフ)』はシリーズ累計60万本を超える大ヒットを記録しました。この作品は代表取締役社長の森りょういちさんが、大学時代の卒業制作でつくった『EACH LIFE』が原作。東京国際アニメフェアに出展した際、(株)コミックス・ウェブ・フィルムの目に留まったことからDVD化が決まりました。

「26歳までに結果が出せなかったら

就職しようと思っていましたから、25歳で『Peeping Life』を世に出せたことは非常に幸運だったと思います」と森さん。それまで個人のクリエイターとして活動していましたが、DVDの発売をきっかけに法人化。以降、「娯楽として楽しんでもらえる映像作品をオリジナルでつくる会社」として事業を展開し、NHK Eテレで放送された『超爆裂異次元メンコバトル ギガントシューター つかさ』をはじめとしたテレビアニメを制作するなど、活躍の場を広げていきました。

ほとんどの制作会社がクライアントワークを行う中、FOREST Hunting Oneではオリジナル作品で勝負するのが特徴。森さんは「企画力とオリジナリティとアイデアで、クオリティ以上の価値を提供してきたからこそ、10年以上続

けてこられたのだと思います」と振り返ります。

大きく舵を切って 教育とエンタメの融合に挑戦

FOREST Hunting Oneの事業転換の契機となった作品が『DON!DON!ドライブ』です。福岡市内の自動車学校と共同開発した学科教習映像で、個性あふれるキャラクターが登場し、車の運転に必要な知識をさまざまなシチュエーションで紹介していきます。森さんは「これまでのように見て消費して楽しむ娯楽作品ではなく、目的を持ったアニメーションコンテンツ。受講者が授業中に眠くならない教材になれば、学習効果は高まりますし、その後の事故率も低下するは

【プロフィール】

中学生の頃から独学でCGを学び、在学中からオリジナルのアニメーションを制作。2010年に法人化し、脱力系ショートアニメ『Peeping Life』を発表。以降、精力的に活動し、教育とエンタメの融合を目指している。



1 会社の代名詞でもある「Peeping Life」はシリーズ累計60万本を超える大ヒットDVDに。テレビでも放送されるなど人気を集めた
 2 教育とエンタメを掛け合わせた新コンテンツ「mitoite(ミトイテ)」。2023年リリース予定でビジネススマナーや社会人としての知識を面白おかしく伝える
 3 ティファニーブルーの壁紙で彩られた社内。ここから世界へと動画作品が発信されている

4 FOREST Hunting Oneの作品は、ニューヨークの映画祭での上映など、アメリカや韓国をはじめ、国内外からさまざまな評価を受けている

ず。学校と学生双方にとってメリットが生み出せる」と自信をのぞかせます。その証拠に「DON!DON!ドライブ」はサブスクリプション化され、現在は全国120校以上の自動車学校に導入されています。

「教育エンタメ」と呼んでいるこの事業は、コンテンツ自体の魅力以外にも、経営の安定化にも寄与できると森さんは言います。「エンタメとしてのアニメ作品は競争も激化し、需給のバランスが安定しません。例えばテレビアニメが決まると一気に忙しくなり、人手も必要になりますが、大ヒットでもしない限りそれが毎年続くわけではありませんから。会社としては仕事をいかに安定させるかということが至上命題。そういう点からも教育エンタメという分野には可能性を感じています」。

次のチャレンジとして、新入社員向けの教材コンテンツ『mitoite(ミトイテ)』を開発中で、2023年2月にリリース予定。働くことや将来に不安を抱える若い世代に対して、仕事に取り組む姿勢や行動の指針を伝えることが目標です。

「いまの若い世代は何かを調べる際に動画で見ます。そのため映像で何かを伝

えようとする時、面白くなければすぐにスキップされてしまいます。従来の新入社員教材のように、真面目に逆側では伝わるものも伝わりません。実際に『mitoite(ミトイテ)』を見ていただいた方からは、不安が取り除けました、もっと正直に生きていいんだとわかりましたなど、好意的な意見をいただいています」と森さん。

さらに、「Z世代と呼ばれる若者に向けた社会人マインドセット教育は、コミュニケーションを苦手と感じている人が多いアニメ業界にいる我々が長年向き合ってきた課題です。再現性ある教育ノウハウを動画として広く提供できるようになることは、労働者人口が減っていく日本において、とても価値のあることだと信じています」と未来を見据えます。

社内教育にも注力しながら 夢に向かってチャレンジを続ける

社内の人材育成にも力を注ぐ森さん。来社したお客様を案内する際にはクリエイター自らが対応するほか、朝礼も当番制でスピーチを行うなど、コミュニケーション能力を磨いています。「スタッフに

はアニメやゲームが好きの人が多く、得てしてコミュニケーションが苦手。ですが、オリジナルのコンテンツをつくり上げていくためには、社内のスタッフや協力会社の皆さんとの打ち合わせ、コミュニケーションは欠かせません。そのため制作会社としては珍しいのですが、社内教育には非常に力を入れています」と森さん。

また、月に1日は仕事をせず、自分の好きなものに取り組むというインフォレスト制度を設定。これもすべては「つくりたいものをつくる」ためだと言います。

「教育エンタメという新規事業に取り組んでいるのも、収益を安定させてオリジナルコンテンツをつくるため。目標はアカデミー賞ですから」と意気込みます。

取材日：7月8日



株FOREST Hunting One

〒810-0012
 福岡市中央区白金1-2-21 7F
 TEL:092-406-7723
<https://foresthuntingone.com/>

ミトイテ紹介サイト